

おぢや

市議会だより



OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. **91**

31. 1.25

編集発行
小千谷市議会
☎83-3505



土川お囃子隊

おぢやまつりの土川万灯運行を率いるのは土川有志会ですが、そのお囃子の担い手が「土川お囃子隊」です。幅広い世代が子どもたちを中心に、土川を盛り上げるべく日々練習に励んでいます。

子どもたちが楽しみ、ひいてはそれが未来へと繋がっていく「理・想い」、そしてますます繋がりが強き町になることを願ってこれからも活動していきたいと思えます。

- 第4回定例会議決結果
..... P 2～3
- 常任委員会報告 P 3～4
- 一般質問..... P 4～7
- 行政視察報告 P 8～9
- 議会日誌..... P 10
- 雪あかり、編集後記..... P 10

— 主な掲載内容 —

新年明けましておめでとぅございませう



議長 田中 淳

皆さまにおかれましては、輝かしい新年を迎え希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃より小千谷市議会への深いご理解と、議会活動に対する温かいご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。議会に於いては、一昨年の手話言語条例制定に続き、議員発議により平成30年第4回定例会にて「小千谷市議会基本条例」を全会一致で可決いたしました。今後は議会の活性化と透明性を堅持しながら、より一層市民生活の向上につなげてまいりたいと考えております。

さて、昨年を振り返りますと、酷暑による農作物への影響を始め、全国的には自然災害が頻発した年でもありましたし、今年

はバブル真只中で始まった平成も終わりを告げようとしており、改めて歴史の教訓の中から未来に向けてどういう道を進むべきか考える年でもあります。

昭和の時代には漢字・ひらがなであった流行語も平成の時代にはカタカナ・英字文化が主流となり、バブル景気崩壊後の不安な世情から、来年には東京オリンピック・パラリンピックが、その5年後には大阪で万国博覧会の開催が予定されております。歴史が動く大きなイベントを幾つも抱える中で、小千谷市の独自性をどうアピールしていくか、消費税増税対策と併せ、経済の底上げを図りながら人口減少対策・労働力確保など山積する問題に対し、少しでも明るい兆しが届けられるよう議会としても出来る限り取り組んで参る所存です。

市民の皆さまが笑顔で暮らせる素晴らしい年になりますように心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

第4回定例会 議決結果 (12月5日から12月26日まで開催)

議案番号等	議 件 名	議決状況	議決結果
条 例	議案第80号 小千谷市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部改正	全会一致	原案可決
	議案第81号 小千谷市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	賛成多数	//
	議案第82号 小千谷市長、副市長及び教育長の給与額並びにその支給に関する条例の一部改正	賛成多数	//
	議案第83号 小千谷市職員の給与に関する条例の一部改正	全会一致	//
	議案第84号 小千谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	//	//
	議案第85号 小千谷市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	//	//
予 算	議案第86号 平成30年度小千谷市一般会計補正予算(第4号)	//	//
	議案第87号 平成30年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	//	//
	議案第88号 平成30年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第2号)	//	//
	議案第89号 平成30年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	//	//
	議案第90号 平成30年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第1号)	//	//
	議案第91号 平成30年度小千谷市水道事業会計補正予算(第2号)	//	//
	議案第92号 平成30年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第1号)	//	//
	議案第93号 平成30年度小千谷市下水道事業会計補正予算(第1号)	//	//
議案第100号 平成30年度小千谷市一般会計補正予算(第5号)	//	//	
そ の 他	議案第94号 小千谷市の公の施設(片貝総合センター)の指定管理者の指定	//	//
	議案第95号 小千谷市の公の施設(養護老人ホーム)の指定管理者の指定	//	//
	議案第96号 小千谷市の公の施設(堆肥センター)の指定管理者の指定	//	//
	議案第97号 字の区域及び名称の変更	//	//
	議案第98号 小千谷市副市長の選任【大塚良夫氏】	賛成多数	同意
	議案第99号 小千谷市教育委員会委員の任命【新谷梨恵子氏】	賛成多数	同意
発 議	発議案第6号 2019年10月からの消費税増税中止を求める意見書	賛成少数	否決
	発議案第7号 精神障害者医療の充実を求める意見書	全会一致	原案可決
	発議案第8号 小千谷市議会基本条例の制定	//	//
請 願	請願第4号 国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願	みなし	不採択

*議決状況の「みなし」は、その請願に対応した同趣旨の意見書の発議案が提出され、先に採決したため、その議決結果をもって不採択されたものとみなします。

議員賛否の状況 (採決において賛否が分かれたもの)

議案番号等	議決結果	賛成	反対	森本恵理子	住安 康一	駒井 和彦	大矢 弘	佐藤 栄作	上村 行雄	内山 博志	佐藤 隆一	長谷川有理	阿部 正行	久保田陽一	山賀 一雄	田中 淳	本田 剛	久保田久栄	風間 順一
議案第81号	原案可決	11	3	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	欠	○	○
議案第82号	原案可決	11	3	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	欠	○	○
議案第99号	同意	14	1	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案第6号	否決	4	10	×	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	欠	×	×

※ ○は賛成、×は反対、欠は欠席、議長（田中淳）は採決に加わりません。

常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会に付託されました議案11件について、10件は総務文教委員会単独で、1件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、議案11件全てを原案の通り可決すべきものと決しました。また、請願1件を採択すべきものと決しました。

○議案第80号 小千谷市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は公職選挙法の改正により、市議会議員の選挙において選挙運動用ビラの頒布が解禁されたことに伴い、所要の改正を行うものです。

○議案第81号 小千谷市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は平成30年の人事院勧告に基づく国家公務員の特別職の職員との給与に関する法律の改正に準じ、議員の期末手当の支給率を引き上げるものです。

○議案第82号 小千谷市長、副市長及び教育長の給与額並びにその支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は平成30年の人事院勧告に基づく特別職の職員の給与に関する法律の改正に準じ、市長、副市長及び教育長の期末手当の支給率を引き上げるものです。

○議案第83号 小千谷市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 ○議案第84号 小千谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 以上の2議案は、いずれも国の人事院勧告及び新潟県人事委員会の勧告を基に一般職の任期付職員の給与等の改定を行うものです。

○議案第86号 平成30年度小千谷市一般会計補正予算（第4号）について
 本案はふるさと納税寄付金の増額に伴う夢の架け橋基金積立金及び報償費等の増額、テクノ小千谷名匠塾の施設整備に対する補助金の計上、給与改定及び人事異動に伴う人件費の増額のほか、緊急を要する経費について補正を行うものです。

○議案第90号 平成30年度小千谷市ガス事業会計補正予算（第1号）について
 ○議案第91号 平成30年度小千谷市水道事業会計補正予算（第2号）について
 ○議案第92号 平成30年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算（第1号）について
 ○議案第93号 平成30年度小千谷市下水道事業会計補正予算（第1号）について
 以上の4議案はいずれも、職員の給与改定及び人事異動等に伴う人件費の補正を行うものです。

○議案第94号 小千谷市の公の施設（片貝総合センター）の指定管理者の指定について
 本案は小千谷市片貝総合センターの現指定管理者の指定期間が平成31年3月31日をもって満了となることに伴い、同施設の指定管理者の指定について、市議会の議決を求めています。

○請願第4号 国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願について
 本請願は消費税増税中止の意見書を国へ提出することを求めたもので、採決の結果、採択すべきものと決しました。

民生産業委員会

本委員会に付託されました議案6件について、慎重に審査した結果、原案の通り可決すべきものと決しました。

○議案第85号 小千谷市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」の公布に伴い、地域密着型サービスに高齢者と障がい者のサービスが追加されたことにより、条例の一部を改正するものです。

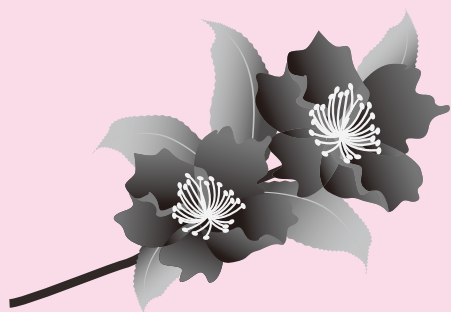
○議案第87号 平成30年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
 ○議案第88号 平成30年度小千谷市介護保険特別会計補正予算（第2号）について
 ○議案第89号 平成30年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正（第1号）について
 以上の3議案は、いずれも職員の人事異動等に伴う人件費の補正です。

○議案第95号 小千谷市の公の施設（養護老人ホーム）の指定管理者の指定について

本案は小千谷市養護老人ホームの現指定管理者の指定期間が平成31年3月31日をもって満了となることに伴い、同施設の指定管理者の指定について、市議会の議決を求めるものです。

○議案第96号 小千谷市の公の施設（堆肥センター）の指定について

本案は小千谷市堆肥センターの現指定管理者の指定期間が、平成31年3月31日をもって満了となることに伴い、同施設の指定管理者の指定について、市議会の議決を求めるものです。



市政の内容を聞く

一般質問

認知症徘徊者対策・ひいな祭りについて

久保田 陽一 議員

質問 現在行っている認知症徘徊者に対する施策と、行方不明になった時の市の役割とは。

答弁 平成22年度より認知症総合対策事業を開始し、認知症対策推進会議では、認知症予防施策と認知症ケア体制の充実を図るとともに、警察からの情報を市から介護保健事業所へ送信する仕組みを作り、認知症徘徊者の早期発見に努めてきた。徘徊者SOSネットワーク事業では毎年1地区を選定して徘徊模擬訓練を行い、地域の見守り体制や町内における捜索体制づくりを行っている。市の役割については警察や地域、関係機関と協力しながら、早期発見のために、正確な情報を適切に伝達していくことであると考える。

質問 今後、緊急情報メールや

安全安心情報メールでの情報発信や、広報車でのパトロールを行うべきでは。

答弁 ご提案いただいた小千谷市の緊急情報メールに新たに認知症徘徊情報の配信を行うこととし、警察からは独自にNPO法人住民安全安心ネットワークへの配信を決定していただいた。広報車でのパトロールは今のところ考えていない。

質問 小千谷の絵紙と雛祭りを市の無形文化財への登録が必要と考えるが。

教育長答弁 文化財と呼ばれるものの範囲は幅広いが小千谷の絵紙と雛祭りの風習については無形の文化遺産に該当する。この指定については、年中行事等に関する風俗慣習の客観的な根拠や継続的に活用・保持できる組織などを関係団体とも協力し



て調査し、その結果により文化財調査審議会に諮っていきたい。

観光地整備の方策と錦鯉の国魚への取組

上村 行雄 議員

質問 観光地整備の方策について。

答弁 維持管理については、明確な基準は設けていないが毎年専門業者や町内会、保存団体等に委託し適切に管理を行っている。今後も利用者ニーズや意見など確認し、引き続き安全確保と利便性の向上に努めて行く。

質問 おちやくるの利用促進と山本山周辺の活用について。

答弁 平成29年7月のオープン以来、累計15万人以上の方がご利用し好評をいただいている。各種イベント等にぎわっているが、それ以外にもスポーツ合宿の需要などもまだまだあると考えるので、山本山の環境を活かした特定競技や市内の各施設と結ぶことも含め誘致活動を行って行く。また、山頂周辺のクロスカントリースキークース整備はアクセスや駐車場確保等の課題があり、まずは白山運動

公園のコースをご利用いただきたい。

質問 錦鯉の国魚への取組について。

答弁 平成26年に「市の魚」、平成29年に「新潟県の鑑賞魚」という流れの中で、「国魚」への期待が高まっていると考える。国を代表する魚として多くの国民から認知されるよう関係団体や県とともにプロモーションなどの取組が必要であると考える。当市では、農林課において錦鯉戦略係を置き、PR活動などを効率的かつ効果的に進めるため、庁内を横断したタスクフォースによる体制づくりを進めている。また、事業の推進については、市民や関係団体と協力し、オール小千谷の取組になるよう、今後も推進して行きたいと考える。



原発問題・交通弱者対策 吉谷小の学童クラブ

内山 博志議員

質問 市長は、人口減少社会への対応を最重要課題とし、その

柱の筆頭に安全で安心に暮らせるまち、としている。花角知事は、県議会で「原発事故の検証結果が示されない限り、再稼働の議論は始められない。県民が納得しない限り原発は動かさな」という姿勢を貫く」と発言。知事の姿勢をどう考えるか。市長も知事同様、市民の納得がいくまで動かすべきではないと考えるか。

答弁 知事の柏崎刈羽原発に対する姿勢を尊重する。県の検証により知事が方向を示すべきと考える。

質問 旧小千谷総合病院跡地事業は小千谷市の財政規模にあつたものにするのが重要と考えるがいかがか。

答弁 整備費には、国の交付金、文化施設建設基金の充當を予定、財政負担が軽減されるよう努める。来年度には既存施設の取壊しに着手予定。進捗は広報おちや、市ホームページに掲載する。

質問 公共交通は、国、県の支援が不可欠の状態。バス路線から外れているところもある。市民の足確保が必要だ。全国には学ぶべき制度がある、総合的に検討したらどうか。本町の交通のハブ機能充実のため、休憩、待合所が必要ではないか。

答弁 様々な角度での検討をするとともに国、県、市、事業者が連携していくことが必要。商店街の休憩スペースやサンプラザロビオの活用を。旧病院跡地整備でスペースの確保を検討したい。

質問 吉谷小学校の学童クラブ設置はどうか。

答弁 新年度に向け長期休業のみ設置の方向で協議を進める。

市長の抱負・病児病後児保育発達教育支援

阿部 正行議員

大塚市長の抱負について

質問 再選の感想は。

答弁 多くの方々からご支援を頂き感謝申し上げますと共に負託に応えるよう全力を尽くす。

質問 人口減少に立ち向かう姿勢について。

答弁 当市における最大の課題だが、「愛される住みよいまちに」と実感できるようにしたい。

質問 財政について。

答弁 地方分権を進める中で国と地方の役割分担を明確したい。

病児病後児保育について

質問 全体の概要は。

答弁 現段階では対象は生後4カ月～小学生まで、定員6人で看護師、保育士の配置を考えている。

質問 感染対策は。

答弁 一つの建物に複数の施設が入るので、入口を別にし、静養や隔離する部屋を設ける。

質問 医師の対応は。

答弁 医療機関に併設しない「単独型」になるため、協力医療機関と詳細な協議を今後行う。

発達教育支援について

質問 当市の現状は。

教育長答弁 日頃子どもたちと接している保育士、教師から見ると、支援を必要と考えられる子どもに対して「知能検査」等受けるように、保護者に働きかけている。

質問 保護者への対応は。

教育長答弁 保護者の理解を得ることは大切なことであり、専門相談員等配置して万全を期している。

ている。

質問 専門相談員の現状は。

教育長答弁 小中学校に配置し、子どもたちの情報共有を密に行い、適正な就学について連携して取り組んでいる。



持続可能なまちづくりの具体的な取り組み

山賀 一雄議員

質問 人口減少対策に全力で挑戦し、持続可能な小千谷市を目指すとして「五つの柱」を掲げますが、具体的な取り組みについて伺う。

答弁 社会現象でもある人口減少への対応については、これまでの取り組みにより社会減が鈍化しているが、流れを継続するため、人口減少対策にはあらゆる施策を総動員して、総合的にまちづくりを進める。「安全で安心して暮らせるまち」では、医療環境の充実のため小千谷総合病院の機能充実支援、防災力向上として防災公園の整備、水

害対策として河川改修の促進を図る。「育みと学びを大切にするまち」では、子育て支援策の充実のため包括的な子育て支援センター整備、学校教育の充実のため小中学生の職業意識教育の推進、図書館を核とした複合施設の整備に取り組む。「にぎわいと活気に満ちたまち」では、中心市街地の活性化のためイベント支援、就業支援としてキャリア教育の推進、農業振興として6次産業化支援などに取り組む。「信頼とコミュニティがあるまち」では、地域づくり活動支援や地域おこしグループを支援する。「ためまぬ改革を進めるまち」では、行政改革を進め、無駄のない行政と安定した財政運営を目指す。

質問 予算配分の少ない都市計画道路東栄元中子線の整備について伺う。

答弁 県選出国會議員、県とも連携し、街路事業の必要性を強く訴え、予算配分に関する要望活動を行う。

質問 法律改正に伴う水道事業の民間委託の考えについて伺う。

答弁 コンセッション方式は選択肢の一つではあるが、当市は導入する考えはない。

障がい児の放課後 支援・がん教育等

森本 恵理子議員

色覚異常への配慮について

質問 先天性の色覚異常は男性の約20人に1人。色覚検査が廃止になってから、無自覚のまま学習障害や就労の際の弊害を生んでいる。希望制となった色覚検査受診率を伺う。見やすく値段も変わらない色覚チヨークを全小中学校へ導入すべき。

教育長答弁 検査受診率は2.4%と低い。今後、受診率向上に向け働きかけていく。色覚チヨーク導入について、校長会などを通じ情報提供を行い、使っていく。

旧小千谷総合病院について

質問 旧小千谷総合病院は多くの市民からとても愛された病院でした。病院から図書館へと形を変えてもきちんと想いをつなぐことが必要と考えるが見解は。

答弁 地域の賑わいにも寄与してきた施設であり、病院に対する市民への想いについても大切にしていくなが必要があると考える。新施設の整備にあたり、今後選定される事業者の情報提供を行

うなど参考にしていく。

障がい児の放課後支援について

質問 需要に対して供給が少ない状況にある。課題認識と課題解決に向けて伺う。

答弁 新規事業所の参入を働きかけたり、実態調査を行い、障がいのある子どもの居場所について検討していく。

がん教育について

質問 「がん＝死」ではなく、がんとともに生きる時代。子どもたちが正しい情報を知り、前向きに捉えることができる教育が必要と考えるが見解は。

教育長答弁 がん対策推進基本計画の「がんの教育・普及啓発」に基づいて実践していく。やり方については今後検討していく。

当市の観光振興 (山本山整備等)

駒井 和彦議員

質問 今こそ観光振興を、当市の重要な産業として発展させるべきと考えるが見解を伺う。

答弁 地域資源をブランド化した新たな経済活動の拡充と雇用促進に努めている。観光を地域経

済の発展に結びつけるには、観光に関わる全ての業種の参画が必要であるので、観光協会や商

工会議所とも連携し推進する。

質問 私の提案する山本山整備案の見解について。

答弁 個々の見解については申し上げないが、今後の参考としてたい。

質問 整備について関係課で計画的に検討は進んでいるか。また民間活力の導入も検討されているか。

答弁 施設や環境整備等の必要のあることに意見交換している。今後も随時情報共有を行いながら検討していく。民地であるため、積極的な民間からの整備は考えていない。提案や要望があればその都度協議する。

質問 畜産業者への具体的支援とは。牧草地はやるべきについての見解は。

答弁 市外から調達する場合よりも低額で購入出来ること。廃止については、今後の需要見通しも踏まえ、今後の課題である。

質問 集落維持に関し、どのような考えがあるのか。

答弁 現在ある支援制度を最大限活用していただくこと、中山間3地域で集落アンケートを実

施しており、結果を基に集落で話し合い、その方向性の中でどんな支援が出来るか検討する。

質問 行政と地域との協働でフットパスに取り組んでみては。

答弁 まず
は地元の理解と機運の高まりが必要である。



地域活性化のために 多様な市民の声反映を

長谷川 有理議員

質問 市長再選にあたり公約の工程と納期を市民に明確化していただきたい。

答弁 公約は、4年前25分62項目、今回22分61項目。小千谷病院周辺道路整備や浄水場更新以外は多くが継続事業です。

質問 市民が市長の公約や工程表を知る場所はどこか。

答弁 立候補の記者会見で明示。市のホームページでは提示できない。

質問 消防庁舎の仮眠室の個室化や女性職員への対応等の整備を。

答弁 女性職員採用に向けた施設整備は対応していきたい。仮眠室の個室化は直ちに対応は困難。

質問 女性の管理職登用や自治会長等に占める女性の参画支援を。

答弁 係長職に多くの女性職員を配置してきた。今後も適正等を勘案して登用していく。自治会長への登用は町内会長会議等で周知していく。

質問 白山運動公園や船岡公園、片貝等の市営公衆トイレの洋式化を早期に実現すべき。

答弁 33カ所ある公衆トイレ中、洋式化は17カ所。改修進めたい。白山運動公園は総合的な整備計画策定の中で進める。

質問 非科学的な男女脳題材の市男女共同参画講演会は妥当か。

答弁 科学的か非科学的かは私は判断できない。

質問 技能実習生を含め外国人居住者の現状と共生支援策は。市窓口案内、仲間づくり等支援は。

答弁 英語のごみの出し方チラシを作成中。窓口対応も総務省の通訳サービスがある。市のホームページも多言語で対応。日本語教室や国際交流団体の交流活動がある。

質問 障がい者法定雇用率の達成は。採用枠設け採用強化を。

答弁 平成元年、平成10年、平成22年、23年、30年に障がい者枠を設けて採用活動した。



女性消防士の誕生が
当市でも待たれます

新生児の聴覚検査・ 市営住宅の保証人他

住安 康一議員

質問 誰もが暮らしやすい社会を目指す「ユニバーサルマナー」を推進していくことが重要。職員研修のひとつとして、市民サービス向上のため、関係する各課や窓口業務に携わる職員が積極的にユニバーサルマナー検定を受講するべきであり、さらに、市民講座の開催などを通じて「心のバリアフリー」への取り組みを推進すべき。

答弁 窓口対応のある職員を研修に派遣している。今後も積極的に参加するように努める。理想とする共生社会は、全市民が

互いの立場を思いやり「心のバリアフリー」となること。市として何ができるのか、市民講座の開催も含めて今後の検討課題とする。

質問 費用の負担を軽減するため、新生児の聴覚検査に対して公費助成を行うべき。

答弁 検査実施率は100%近くで推移する状況であるため、助成については今のところ考えていない。

質問 住宅セーフティネットの中核として位置付けられている市営住宅において、保証人要件をなくす条例改正を早急にすべきであり、段階的には連帯保証人の免除取扱い要綱を定め、保証人ではなく緊急連絡人の届を認めることなどを検討すべき。

答弁 これまでも身寄りがいないなど個別状況に応じ、保証人の連署を求めずに適切に入居できるように配慮。国、県の民法改正に伴う入居保障の取扱いなどを踏まえ新潟県の条例改正に準拠し、小千谷市営住宅条例の改正に向けた準備を進めた。



「骨格提言」に対する 取り組みについて

佐藤 隆一議員

質問 「骨格提言」（障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会提言）の公表を受けて、「障害者総合支援法」が成立、施行されました。小千谷市役所の「障がい者」と「常時勤務する」職員数について。

答弁 正規職員382名、臨時職員等の非正規職員のフルタイム11名、短時間勤務職員154名です。（教育委員会を除く。）

質問 障がい者雇用率について、新潟労働局の非正規職員は計算に含まないとする通知により、自治体が誤った算定をした要因は。法定雇用率を上回っている自治体もありますか。

答弁 他の自治体のことについては分かりませんが、新潟労働局の指示に従って算定。

質問 平成30年4月から、学校給食センター調理・運搬業務が委託されました。障がい者雇用率の計算にカウントする必要があるのでしょうか。

答弁 市の職員ではないので、雇用率計算には含めません。

質問 国や県に対して、どのような申し入れを行ないましたか。

答弁 新潟県労働局に対して「国からの通知は大きな影響力があり、自治体はそれに応じた事務を行うので、誤りのないようにしてほしい」と伝えました。

質問 障がい者雇用をどのように進めていくのでしょうか。

答弁 これまでも一般枠での雇用も進めておりますが、今年度は障がい者枠として設け、2名の応募者がありました。今後とも障がい者雇用を進めて参ります。



市議会を傍聴してみませんか

第1回定例会日程

- 2月26日(火) 第1日 議案上程説明
- 2月27日(水)～3月6日(水) 各常任委員会で審査
- 3月14日(木) 第2日 一般質問
- 3月15日(金) 予備日
- 一般質問(質問者が多い場合に開催)
- 3月18日(月) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局(TEL83-3505)へお問い合わせください。委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。議会の日程は、市ホームページからご覧いただけます。

URL

<http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。本会議当日のライブ中継のほか、録画映像もご覧いただけます。(録画映像は本会議終了後、通常は、休日(土日・祝祭日等)を除く5日後から1年間ご覧いただけます。)パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。

URL

<http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

行政視察 報告

総務文教委員会

平成30年7月10日～12日

学校給食について

兵庫県宝塚市

「宝塚市の給食が日本一」という話を聞いたことがあり、どのような考えで取り組みを行っているのか、小千谷市との違いはどこなのか学ぶために視察を行った。

宝塚市は、1968年から自校調理方式を採用し、途中民間委託の時期があったが現在は、全ての小中学校で完全給食を実施している。自校調理方式のメリットとして、できたてが食べられておいしい、事故があったときは最小限に押さえることが出来ること。デメリットとして、コストがかかること。おいしい給食のため、献立の原案を栄養教諭が作成し、調理員、給食担当教諭で構成する委員会で献立を作成している。

視察では、説明に調理員が参

加するなど、一貫した食育としての学校給食に対する熱意が伝わってきた。市長の思い入れも学校給食に必要な予算を充てる基になり、宝塚市の宝として社会的な人口増に一役かかっているようだ。小千谷市としてもこのような熱意がもつと感じられる学校給食であることを望む。



あかし市民図書館について

兵庫県明石市

明石市は、中心市街地の活性化につなげるために、図書館の移転・整備を行った。当初は再開発ビル内に市役所本庁の窓口機能を移転の上整備する方針だったが、パブリックコメントや市民フォーラム等において、図書館の整備を希望する市民の意見・要望が最も多く寄せられ



たことを受け、図書館を移転・整備する方針が決定された。

平成25年8月に整備基本計画を策定し、平成29年1月に「あかし市民図書館」がオープンした。

内容は、1階から3階までが商業施設と医療施設と大型書店等が入居していて、4階が「あかし市民図書館」、5階が「子ども図書館」、6階が「あかし総合窓口」として利用されている。利用状況は、駅から徒歩2分という近い距離にあり、旧市立図書館と比較すると2倍から3倍くらい利用者が増えている。創意工夫して街の賑わいに貢献している図書館であることを認識でき、参考になった。旧小千谷総合病院跡地もそのような施設になればと感じた。

行政経営について

兵庫県小野市

「行政も経営」であるという基本理念のもと、より高品質なサービスをいかに低コストで提供するかを追及するため、顧客満足度志向、成果主義、オンリーワン、後手から先手管理という4つの柱を基軸に行政経営を展開している小野市において、独自の目標管理システムである「方針管理制度」、「報・連・相の仕組み」、「多様な広聴システム」などの取り組みを視察した。

特に方針管理制度としては、いつまでに何を行うかをより細かく具体的に設定し、達成評価はプロセスと難易度を重視し人事制度と連携を図っている。

また多様な広聴システムも情報一元化と受付から回答に至る時間も管理し、市民の意見を市政に反映し、職員の問題解決能力の醸成にも役立てている。

市長のゆるぎない信念と職員がやる気を生み出す評価制度がよき事業を生み、継続することができると感じた視察であった。

民生産業委員会

平成30年7月18日～20日

保育士不足対策、子どもの居場所作り事業について

沖縄県石垣市

石垣市が平成29年度から実施している「子どもホットステーション」を視察した。

沖縄県は、子どもの貧困率が高く、経済的に困難な家庭の児童を対象に、家庭相談員と連携した学校訪問や家庭訪問を行い、援助が必要な子どもの放課後の居場所や支援機関への橋渡しを行なっている。この事業は資格を持つ元教諭や保育士の他、ボランティアやこの事業の卒業生なども参加して行ない、市の子ども家庭課に専属の職員を配置。この事業は内閣府の100%補助事業として始まった。

自治体が持続性をどのように



確保するのかなど課題はあるが、少子化が進む背景にある非婚化などの問題を抱えつつ、人口が増加し続ける石垣市にとっては最優先の政策と思われる。また、子どもの社会的擁護という意味で、大変参考となる事業だった。



子どもへの事業について

沖縄県名護市

当市においても子どもの放課後支援について、学童保育の在り方などが問題になってきている。子どもの数が増加傾向にある名護市の放課後支援について先進事例として視察した。

「子どもの家」とは放課後の子どもの居場所であり、「地域のみんなで育てる子育て」の活動である。公民館、集会所及び学校の空き教室を拠点として行っているが、年々増加し、本年度は21か所となった。週1〜3回、固定の曜日で行うところ

が多く、長期休暇のみ開設する会場もある。時間は1日3時間以内を原則とし、参加費は原則無料。

特色として「託児・保育事業ではない」と明確に謳い、保護者の責任で子どもたちをかわせる居場所であること、子どもたちの自主性を尊重した「遊びの場、学びの場」の提供と安全管理を行う場であること。

住んでいる地域に頼れる大人が複数いるという安心感は子どもたちの心の成長に必要なもので当市においても学童保育以外の放課後の居場所づくりが必要だと感じた。



議会運営委員会

平成30年10月24日〜25日

議会活性化の取り組みについて

長野県須坂市

長野県須坂市において、委員

会の自由討議、参考人制度の活用、議会改革に関する市民との懇談についてなど視察した。

委員会の自由討議は、小千谷市と実際は変わらないと感じた。参考人制度については、重要事案では、直接市民の声を聞き進めることを制度化している点において学ぶところがあり、議会報や広報全般に対する市民の声を把握するために市民アンケートを実施するなど工夫されていた。

請願・陳情の委員会審査では、趣旨説明の機会を設け、概ね5分程度としている。傍聴者への利便性などの配慮から委員会の冒頭で審査するよう変更した。

議会を身近なものにするため一般質問は、通告書を公民館等市内10カ所に配布。常任委員会の行政視察については、目的や報告を市民の理解を深めてもらう意味でも充実を図るとしている。議会傍聴者からアンケートを取り、議員活動に対する意見を保証する点で重要と捉えている。

市民の目線で市議会がどのように理解されているのか、議会改革を日常的に意識し、議員それぞれが緊張感を持って活動しなければならぬと感じた。



長野県塩尻市

地方分権が叫ばれて久しい中、各自治体は、行政と議会との二元代表制のもとに運営されている。

しかしながら、議会は議論をたたかわせることが使命ながら、なかなかその中味が見えてこないと言う市民がいることも事実。その中で塩尻市議会ではそこに目をつけ、あくまでも市民目線に立った議会改革を掲げて、約10年かけて議論を続け、議会基本条例の制定に至った。

議論の中には、定数削減、定例会のあり方、代表・一般質問のあり方、議会情報の公開等多岐に及んだと聞いている。

特に議会報告会には、若者の政治参加を促し、理解を得るため高校生と意見交換をしている

ことに驚かされ、テーマを高校生の身近なものに絞り、創意工夫が行き届いていると思った。当小千谷市議会は平成30年第4回定例会で議員発議により議会基本条例の制定に至ったわけだがこれからは正念場であり、塩尻市議会のように、創意工夫で実行し、市民目線に立った運用が必要と実感した。

会議録の閲覧

市議会本会議の会議録（平成15年第1回定例会以降）は市ホームページからご覧いただけます。

パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。

（平成30年第4回定例会の会議録掲載は、2月末頃となります。）
一般質問等の詳細はこちらをご覧ください。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

議会日誌 10月～12月

〈10月〉

5日 議会報編集委員会

10日 千葉県市原市議会(行政視察)に来市

12日 議会改革検討委員会

15日 議会報編集委員会

〃 議員全員協議会

〃 市議会議員と商工会議所女性会との懇談会

17日 山梨県北杜市議会(行政視察)に来市

18日 千葉県四街道市議会(行政視察)に来市

24日 議会運営委員会(行政視察)に出発(長野県須坂市、塩尻市)

25日 長野県東筑摩郡山形村(行政視察)に来市

30日 福島県双葉郡浪江町(行政視察)に来市

21日 政友会、新政の風(行政視察)に出発(山形県東根市)

26日 中越地区市議会(議長会)(加茂市)

28日 議会運営委員会

〈12月〉

5日 第4回定例会(本会議)

〃 議員全員協議会

〃 議会報編集委員会

6日 常任委員会(連合審査会)

7日 総務文教委員会

10日 民生産業委員会

〃 民生産業委員協議会

20日 議会運営委員会

〃 本会議(第2日)

〃 本会議(第3日)

21日 議会報編集委員会

〃 議会運営委員会

26日 本会議(第4日)

〃 議員協議会

〈11月〉

1日 民生産業委員協議会

5日 水明会(行政視察)に出発(埼玉県吉川市、本庄市)

〃 兵庫県三木市議会(行政視察)に来市

7日 全国市議会議長会(東京都)

〃 議会改革検討委員会

16日 議会改革検討委員会



73



山田 優子 (岩沢)

雪国新潟に来て8年目の冬を迎えようとしています。

埼玉出身の私ですが、妙高に4年、小千谷に4年。どちらも雪深く、自然の色濃い豊かな地。それだけでなく埼玉、東京の生活では体験出来なかった、地域の輪、人と人とのネットワークが新鮮で温かく、居心地の良さを日々感じ、どっぷりと浸かっています。

私は小千谷で結婚と出産の機会を経て、多くの地域の方々から支えられ、家族3人歩んでくることが出来ました。他所から来た私たち夫婦と息子を、気にかけて支えてくださるのは本当に心強く、ありがたいと思います。共助の心も自然とともに共存しているこの地だからこそ。



知識や技術、経験も次世代へ伝えていきたい宝物であると感じています。都会にはない豊かさがここにはあり、それを知ってしまうともう東京での生活には戻れないとの思いを感じてしまいうことでもあります。2歳になっただけのまだまだ小さな息子ですが、たくさんこの地の人と自然の豊かさを受けて、吸収していってほしい、そんな思いです。

四季移ろいゆく中、その時折の恩恵を享受し、時に荒れ狂う力に畏敬の念を抱きつつ、今年の冬は色々とお手伝いをして、今年盛りの息子と一緒に雪かきを手伝って(?) もらえるかと小さな楽しみにしています。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。本年が市民の皆様にとって良き年となりますことを、心よりご祈念申し上げます。

さて今定例会は大塚市長にとって2期目のスタートとなる議会となりました。新しい副市長も決まり小千谷市政も、より一層活気づくものと期待します。

また議員発議により「小千谷市議会基本条例」を全会一致で可決いたしました。

この条例は、議会及び議員の活動に関する基本的事項を定めることにより、議会の活性化を図り、市民の負託に応え、市民全体の福祉の向上と市政の発展に寄与することを目的として定めたものです。

情報公開と説明責任の遂行、透明性と公平・公正の確保、政策活動等への市民参画の促進、関係機関との抑制と均衡のとれた関係の保持及び政治倫理向上などの職責を果たす決意を、私たち小千谷市議会では表す所存です。

編集委員 大矢 弘光